

92. 当院にて自家末梢血幹細胞移植併用大量化学療法を施行した多発性骨髄腫27例の後方視的検討

研究の概要

若年者の多発性骨髄腫の標準的治療の1つは自家末梢血幹細胞移植併用大量化学療法です。当院で診断し自家末梢血幹細胞移植併用大量化学療法を行った多発性骨髄腫の患者様の経過から、移植の経過に影響する要因を見出し、今後の治療に役立てることを目的としています。

研究の目的と方法

本研究においては2006年1月1日から2019年12月31日の間に当科で診断し自家末梢血幹細胞移植併用大量化学療法を受けた多発性骨髄腫の患者27例を対象としています。電子カルテより日常診療で得られたデータから後方視的に解析します。

本研究の参加について

本研究により患者さんに新たな検査や費用の負担が生じることはありません。また、研究で扱う情報は、個人が特定されない形で厳重に扱います。皆様の貴重な臨床データを使用させていただくことにご理解とご協力をお願いいたします。本研究にご自身のデータを研究に使わないでほしいと希望されている方、その他研究に関してご質問がございます際は、末尾の問い合わせ先までご連絡ください。

調査する内容

本研究は、新たに試料・情報を取得することではなく、既存のカルテデータ（問診記録、身体所見、検査データ）を用いて実施する研究です。研究対象者(患者様)の個人情報(氏名、住所、電話番号)は記載せず、個人情報は特定されません。

調査期間

研究対象期間：診断日～2020年6月30日

研究期間：倫理委員会承認日～2021年3月31日

研究成果の発表

研究成果については、学会、論文などでの発表を予定しています。

当院における研究責任者

国立病院機構熊本医療センター 血液内科 原田奈穂子

問い合わせ先

国立病院機構熊本医療センター 血液内科 原田奈穂子

TEL: 096-353-6501